

創造

JA いけだ
CREATION

今月号の表紙写真は、6月28、29日に開催された第11回全国和牛能力共進会北海道最終選抜会において北海道代表に選抜された生産者の皆様です。当農協からは清水孝悦さん、多田隆弥さん（後列右から2番目、3番目）が代表に選抜されました。詳しくは2ページをご覧ください。

第11回全国和牛能力共進会 北海道代表 平成29年6月29日



CONTENTS

- ※ 祝・全共出場決定！
- ※ 新規就農者激励状伝達式
- ※ ネバリスター部会
取引先訪問
- ※ 平成29年度
報徳研修会を開催！
- ※ 21NEWSアラカルト
シリーズ
協同組合と報徳
- ※ 退職のご挨拶
- ※ JAグループ通信
- ※ 金融共済課より
- ※ 畜産部通信
- ※ 未来人
- ※ 訂正とお詫び
- ※ 理事会の動き
- ※ 編集後記

2017.

8
AUGUST

No.092

祝 全共出場決定!

2頭が北海道代表牛に選抜

第11回全国和牛能力共進会北海道最終選抜会が、6月28日・29日に音更町の家畜共進会場にて開催されました。全道各地より58頭の候補牛が集結し、各地区がしのぎを削る中、見事、清水孝悦さん出品の「はやひさかつ」、多田隆弥さん出品の「みはや」の2頭が第7区「総合評価群」（種牛4頭・肉牛3頭1群）の代表牛に選抜されました。

当農協から前回の全共に引き続いての出場という結果が得られましたことは、生産者の皆様の和牛改良に対する日ごろの努力の賜物だと思います。

北海道代表に選ばれた2頭は9月7日から宮城県にて開催される全国和牛能力共進会に向け更なる牛の管理・調教が進められます。

出品された生産者の皆様に於かれましては、大変お疲れ様でした。また暑い中応援に駆けつけていただいた皆様、ありがとうございました。

（記事・畜産課 岩城 諒）



清水孝悦さんの「はやひさかつ」〔第7区（種牛）代表〕



多田隆弥さんの「みはや」〔第7区（種牛）代表〕



開会式



第7区（種牛）審査の様子

新規就農者激励状伝達式

～今年度は3名が就農～

平成29年度の新規就農者に対する激励状伝達式が、6月23日に行われました。

これは、北海道の農業・農村を担う一員として、農業に意欲を持って取り組むことを期待し、JAグループ北海道5連（中央会・ホクレン・北信連・共済連・厚生連）会長連名の激励状と、当JAからお祝いを贈呈しているものです。

今年度は、千代田地区・長島正典さん、清見地区・永原昭弘さん、東台地区・村瀬冴美さん、（五十音順）の3名の自宅に鈴木組合長が訪れ、激励状と記念品を贈りました。



- ① 営農形態 ② 生年月日・年齢 ③ 趣味
④ 就農を決めた理由 ⑤ 今後の目標



千代田地区

なが しま まさ のり
長島正典さん

- ① 畜産・畑作
② 昭和56年1月7日 36歳
③ ジョギング・旅行
④ 前職に対しての未練も正直ありましたが、それ以上に農業をやってみたいという気持ちがまさりました。又、新しいチャレンジもしてみたいという想いもありましたので就農を決めました。
⑤ 農業と個人の充実のバランスをとれる農業経営を目標にしています。



清見地区

なが はら あき ひろ
永原昭弘さん

- ① 畑作
② 昭和58年12月4日 33歳
③ 草取り・モンハン・音楽・パチスロ
④ 人生を謳歌するため。
⑤ 日々、燃え尽きたい！



東台地区

むら せ さえ み
村瀬冴美さん

- ① 畑作
② 昭和59年4月3日 33歳
③ 洋裁
④ 勢いです!!!
⑤ まだ目標を決めれる程の知識も何もありません。これから色々な事を経験するうちに見付けていきたいです。

ネバリスター部会 取引先訪問

～滋賀県平和堂 青果担当者 150人の前でプレゼン実施～

6月28日から30日にかけて、ネバリスター部会取引先訪問を実施しました。今回の訪問では、㈱ワタリ様の神戸支店と根張星を販売していただいております、㈱平和堂様（滋賀県を中心に約150店舗を展開している）を訪問しました。

㈱平和堂様では当JAの根張星や南瓜・馬鈴薯など多くの品目の取扱いがあることから、月に1回行われている、青果担当者会議の時間をいただきプレゼンを実施させていただくこととなりました。各店舗から1名の参加があり、約150人の前でネバリスター部会の取

組みをはじめとした、JA十勝池田町の農産物の取組みを発信してきました。生産者を代表して、ネバリスター部会の榊澤部会長からは、大筒からネバリスターに品種切替を行った時の話など生産現場での話をさせていただきました。参加された青果担当者からは、普通の長芋とネバリスターの食味に大きな違いがあることから、美味しさの秘訣や生産者ならではの美味しい食べ方など多くの質問がありました。各店舗の青果担当者の方に、池田町農産物をアピールさせていただいたことは、今後の売上に大きな影響があることと考えております。

㈱平和堂様からは、「北海道の生産者が来て会議の場でプレゼンをしてもらったことは初めてで、各店舗の担当者に生産者の熱意が伝わったことは大きい」と言っていただきました。

今回のプレゼンは㈱ワタリ様にご尽力をいただいたことで実現することができました。今後も

このような産地をアピールする機会を作っていきたいと思っておりますので、多くの生産者の方に参加をしていただきたいと思います。

最後になりますが、今回参加されました生産者の皆様、プレゼンの機会を設けてもらいました㈱ワタリ様、プレゼンを実施させていただきました㈱平和堂様、ありがとうございました。

（記事・農産課長 秋野健太）

プレゼンをする榊澤部会長



会場の様子

平成
29年度

報徳研修会を開催!

平成29年度報徳研修を役員・職員を対象として、(財)北海道報徳社 常務理事柴田浩一郎氏を講師として招き「報徳的協同精神と協同組合」と題して、6月15日(木)農協本所大会議室で多くの出席者のもと開催いたしました。

今回の報徳研修は、新自由主義と言われる中で、北海道の農協運動の基礎に報徳運動がどのように貢献したかを、歴史の流れと地域的な特徴を通じ、報徳精神により北海道の農協運動と組織を強くしたことについて研修いたしました。以下、研修会の概要について、ご報告いたします。



(財)北海道報徳社 常務理事 柴田浩一郎氏

1. 報徳が教える経営理念とは

農業を行う経営者の心掛けとして、「永続する経営」を理念として、役職員に経営理念を明確に掲げて、役職員が理念達成に向けた努力をすることが大切になる。トヨタグループには、「豊田綱領」という豊田佐吉氏の考えを成文化された全従業員の行動指針があり、企業規模拡大する中で創始者精神を継承しグループの意識統一を図っている。

二宮尊徳は、報徳の経営論で「遠きをはかる者は富む」と、時々利益に惑わされないで、将来を見据えて経営を維持すること、農業経営にとっても永続することが一番重要で、永続するためには、それを支える組織体として農協の役割が大切になる。

2. 経営力を高める努力

企業が利益を出す。利益至上主義が色々な問題を起こしている。トヨタ自動車工業学園の学園長は「道德感のある職員を育てること」が、この学園の最大の目的と言っている。工場の生産ラインで、欠陥品を発見した時に、ラインを止められるか、止められないか。一度ラインを止めると再稼働には多額なお金と時間がかかる。トヨタ自動車として欠陥品を製造することは、トヨタにとって最大の打撃を受ける基となることを理解し、ラインを止める勇気こそ道德感と言っている。

信用を失うと言うことはその企業が長期的に永続的に営業を行なっていく事が難しくなる。農業経営も同じ事が言える。又、地域に責任を持つのが協同組合で、地域よりも株主の利益によって動くのが企業です。

3. 協同組合は相互扶助組織

新自由主義とは、「今だけ、金だけ、自分だけ」という価値観で、グローバル人材育成では、この3つが中心になる。協同組合は相互扶助の組織なので、「今だけではなく、将来を見据え。金だけでなく、地域を考え。自分だけでなく、皆でやっとう。」という価値観を育てなくては、協同組合が崩壊してしまう。農業を営むためには、地域として皆で生きていくことが、将来に向かって非常に重要です。

報徳というのは、「すべての物に徳がある。徳に報いよ」です。ギブアンドテイクではなく、テイクアンドギブです。農業を行い、家庭を持ち、農協の職員として働いている。これは、多くの人達から恩恵を受けているからです。すでに恩恵を受けているから、なんらかの形で恩恵を返そうとする。この運動が報徳運動なのです。

研修会の最後に、柴田講師から「厳しい時代こそ、協同組合がその真価を発揮できる。」と言葉をいただき、研修会は終了いたしました。報徳研修は、協同組合の職員である限り学び続ける精神・思想でありますので、次年度以降も継続して研修を行って参りたいと考えております。

(記事・管理部長 花本 敦)



JA北海道中央会人づくりセンター 藤村修平氏

「出向く協同活動」実践 のため協同組合を学ぶ

7月20日、農協本所大会議室において、JA北海道中央会人づくりセンター藤村修平氏を招き、「JAの仕組み～協同組合を学ぶ～」と題して、職員向けの学習会を開催致しました。

この学習会は、平成29年度基本方針に掲げた「出向く協同活動」を実践するため、職員が協同組合の歴史や協同運動の意義を学ぶ契機とするため開催致しました。もともと、農協が行う事業や活動は、どれもが協同活動であり、根底には協同精神も脈々と受け継がれるべきですが、世代の交代も進み、活動自体も形骸化しつつあることから、協同組合の歴史や意義を学び、職員自身が協同組合活動の理解者・実践者となる必要があります。

今後、貯蓄活動など信用事業や・予約取りまとめ購買など購買事業、農業祭や御用聞き訪問など営農事業における歴史や意義を継続的に学び、「出向く協同活動」を実践して参りたいと考えております。

(記事・常務理事 大塚 節)

農 産 課

農協で社会見学授業 ～小学生が農協の仕事を学ぶ～

7月6日に利別小学校3年生の12名が社会見学の授業で農協を見学に来られました。当日は親子レクリエーションも兼ねていたことから、多くのお母さん方も一緒に見学されました。

今回は、農協の仕事内容を知ることが目的としていたことから、農協で行っている事業の説明、金融窓口・氷温ストレージの見学を行いました。

農協事業説明では、金融事業や農産事業を中心に説明を行い、子供たちからは、「農家が減っているのは何故ですか、馬鈴薯はどれだけの品種数がありますか」などとても難しい質問がありました。質問が終わった後は、豆のサンプルに触れてもらい、豆の種類の多さに子供たちだけではなく、お母さん方からも驚きの声があがりました。

最後に氷温ストレージの見学を行い、豆の貯蔵について説明を行いました。子供たちはストレージの冷たさに驚いており、外気温が25℃を超えていたことから、「このまま外に出たくない」との声が相次ぎました。

今回見学に来てくれた小学生が、農業に対して少しでも関心を持ってくれることを期待しております。今後もこの様な、見学や体験が継続していけるように、農協としても取り組んで参ります。

(記事・農産課長 秋野健太)



豆のサンプルを観察する子供たち

施設課

豊穰の秋と安全操業の
願いを込め

7月18日、農産センターH14年工場荷受ホッパー前にて、「豊穰・安全祈願祭」が執り行われました。鈴木組合長をはじめ、役職員総勢29名にて農産物の豊穰と収穫・調製作業の安全を祈願致しました。

昨年の台風の影響で、農作物の生育が心配されましたが、組合員の皆様の努力、さらに天候にも恵まれ大きな影響もなく現在順調な生育をしております。

今後、小麦を皮切りに農産物の受入が最盛期となりますので、農産物搬入の際は安全走行にご協力をお願い致します。

豊穰・安全祈願祭の様子



(記事・施設課 鈴木耕一郎)

圃場を確認しながらの研修会



南瓜部会

南瓜部会現地研修会

7月8日に南瓜部会定植後現地研修会を開催致しました。今回の研修は、育苗方法毎（ポット・セルトレー）の生育状況の確認や定植後の管理作業について㈱カネコ種苗の方を講師として招き、部会全体で共通認識を持つために開催致しました。

研修会は作業が忙しい中、新規生産者も含め10名の方々に参加を頂きました。今後も生育に合わせ、種苗会社を迎えての現地研修会を開催する予定となっております。良質な南瓜の栽培に向け部会員一丸となって取り組んで参ります。

(記事・農産課 上野 駿)

営農課

農村ホームステイ
～大阪の高校生が十勝で農業体験～

6月20日から21日にかけて、NPO法人食の絆を育む会（代表：近江正隆氏）が主催する、「農村ホームステイ」が行われました。

今回は大阪府立今宮高等学校の修学旅行生28名を池田町で受け入れ、当JA管内では石沢祐介さん・納定次さん・神谷かつえさん・鈴木雅博さん宅に、受け入れを行っていただきました。

石沢さん宅で花の出荷作業を体験した高校生は、「大阪ではできないことを体験できて、楽しかった。お花もお店で売っている物しか買ったことがなかったので、このように出荷作業をしていることは知らなかったし、貴重な経験になった。」と話されていました。(記事・営農課 杉山淳史)

石沢さん宅で花の出荷作業を体験する高校生



研修の様子



青年部

青年部 夏期研修

7月13日、帯広市にあるDJI AIR STAGEにてドローンの説明、実際にドローンを飛ばす体験をさせて頂きました。

社内の1階では、空撮できるカメラを搭載したドローンや、オプショングッズなどがありドローンの空撮・農業・

測量・建築土木・保守点検を空から行う技術について説明を受けました。

2階では、MG-1 ドローンでの農薬散布の説明を受けました。MG-1 は農薬散布のためのドローンであり、1 ha 当たりおよそ10分で散布作業が行えるというとても魅力的な機械です。その中でもレーダー認識機能があり、作物から一定の距離を保ち散布作業を行えます。ですが、タンク容量10Lの農薬を入れての飛行時間は10分と短く、大きい面積になると複数個バッテリーが必要になってしまいます。

今後ドローンを使い農薬散布作業を行えるようになると、今までに比べ大幅な作業効率がアップし、正確な薬量を作物に散布できるのでコスト低減にもつながると思いました。

その後の懇親会では、作物の状況など様々な情報を交換させていただき、非常に勉強させていただいた1日となりました。

(記事・青年部員 市川浩吉)

女性部

女性部
道内研修旅行

6月25～26日にかけて女性部道内研修旅行を開催し、部員18名の参加にて札幌方面に向かいました。

1日目に三井アウトレットパークでお買い物をした後に日本ハム対楽天戦を観戦しました。結果は6対0で負けてしまいましたが、みなさんユニホームやファンのグッズを持って応援をしていました。

2日目はいしかり漁港の朝市に行った後、ホクレンパールライス工場で研修を行いました。ここでは安心安全でおいしいパールライスを食べいただくために品質を厳しく管理していて、米袋の下に記載されているロットナンバーをホームページの産地情報公開システムに入力し検索すると、産地や原料・製造履歴なども閲覧できる仕組みになっていました。

その後、北海道千歳ハムや岩塚製菓の直売所に寄ってお土産をたくさん購入し無事帰路につきました。日頃の農作業を忘れて、リフレッシュすることが出来た楽しい2日間となりました。

(記事・営農課 豊原英梨)

集合写真 (ホクレンパールライス工場)



シリーズ 協同組合と報徳

No.35

協同組合は企業より劣っている？ 民主的運営は時間の浪費でしょうか？

協同組合では企業に比べて方針の決定に時間がかかり、事業スピードが遅いと批判されることがあります。たしかに多くの多様な組合員を抱える協同組合は、組合員のさまざまな意見を集約するために、民主的な運営を心がけており、方針を決定する上で多くの時間を必要とするのは事実です。

しかし、そのことで組合員の求める事業が停滞すると考えるのは早計です。一部の企業経営者から見れば、意思決定に時間がかかることは望ましいことではないのかも知れません。しかし、企業経営者の中には、協同組合のような民主的な運営を評価する人もいます。

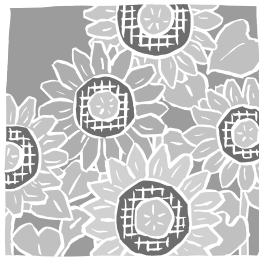
以前、経営の神様と言われた松下幸之助氏が、士幌町農業協同組合で太田寛一組合長（当時、全農会長も兼務）を訪問した際に、組合長が「反対意見もあり協同組合では意見集約に時間がかかる」と話すと、松下氏は、「さまざまな意見を民主的に議論することは企業としても見習う必要がある」と話し、松下氏に対して面と向かって反対意見を言う人がいないことを嘆いていたそうです。

最近では利益の水増しなど企業の不祥事もあり、企業ガバナンスの観点から社外取締役を置く企業が増えていきます。複雑化する現代の経営環境に適切に対応するため

には、権限を一部の人間に集中して誤った方針を決定するリスクを回避しなければなりません。そのため、利害に直接関与しない外部の有識者を社外取締役として配置し、多様な視点から取締役会の議論を活発化する企業が増えてきています。

業界によってはスピードを求められる場面が多いことも確かですが、農業や漁業など一次産業では、スピードよりむしろ組合員の意思を結集し、そこから生み出される結束力を強めることが重要です。徹底した民主的な議論を行い、合意形成の質を高めることによって得られる結束力の強さこそが、厳しい産地間競争に打ち勝つ力となります。

（北海道報徳情報 報徳生活読本）



退職のご挨拶



金融部 金融共済課
萩 涼さん
（旧姓：松山 涼）

（平成27年4月1日入組）
この度、平成29年7月31日をもって、十勝池田町農業協同組合を退職させて頂きました。

在職期間中、色々とお世話になりましたことを、心より厚く御礼申し上げます。組合員皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。



JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会



6月11日に全道3会場（JAさっぽろ、JA帯広かわにし、JAしべちゃ）にて「みんなのよい食JA親善大使」を開催しました。

この取り組みは、北海道コンサドーレ札幌の選手がJA親善大使として、子どもたちと共に「よい食」とは何かを考え、食の大切さや地域の農業の役割を再認識してもらうものです。合計約200人の子どもが参加し、特に自分たちで調べて問題を考えた「北海道の食と農に関するクイズコーナー」は各会場大盛り上がり。農業への理解・関心を深めてもらうことができました。

JA北海道信連



6月に、札幌駅前通地下歩行空間でJAバンクのPRイベントを行いました。

当日は、「ドローン貯キャンペーン」のPRや若手女性農業者集団「Links」の内山佳奈さんによるトークショー、「ちょリス」グッズの当たる「クイズ大会」等を実施しました。また、「ローン相談コーナー」の設置やSNSに「ちょリス」の写真を投稿した方へ記念品を配布する等、JAバンクを広くPRできました。

ホクレン



ホクレンでは、今後の営農の参考にしていただくため、地域に応じたスマート農業技術の紹介に取り組んでおります。7月1日に開催した上川地区のフェアでは、圃場水管理、ハウス関連機器、アシストスーツ、センシング関連、ドローン、GPS自動操舵の6分野で新技術の紹介やセミナーを実施し大勢の生産者や関係者に来場いただきました。

今後も、スマート農業の普及に向けて情報発信に努めてまいります。

JA共済連北海道



組合員・利用者の皆さまへ事業概要や支払規模、経営の健全性をご紹介する資料として、平成28年度の事業概要をまとめたリーフレット「JA共済安心めっせーじ」を発行しました。

「ひと・いえ・くるま」の主な保障の保有実績や共済金支払実績、経営状況や地域貢献活動への取り組みなどをわかりやすく説明しています。今後も、皆さまに安心してご利用していただくため、情報をお届けして参ります。

JA北海道厚生連



この度、北海道厚生連はホームページをリニューアルいたしました。より快適にホームページを使っていただけるよう情報を整理し、分かりやすく見やすいレイアウトにしました。またスマートフォンやタブレットからの閲覧もしやすくなっております。

今後もよりいっそう充実したホームページにしていきますので、引き続きよろしく願い申し上げます。

金融共済課より

通帳のデザインが「サザエさん」 に変更になりました！

この度、「総合口座通帳」「普通口座通帳」の「ちょきんぎょ」デザインの通帳から、「サザエさん」デザインの通帳に変更し取扱いを始めましたので、ご案内申し上げます。

通帳繰越となりました場合、窓口での繰越処理に加え、ＡＴＭでも繰越処理が可能となりますことを併せてご案内申し上げます。



**総合口座
通帳**

新通帳

**普通口座
通帳**

新通帳

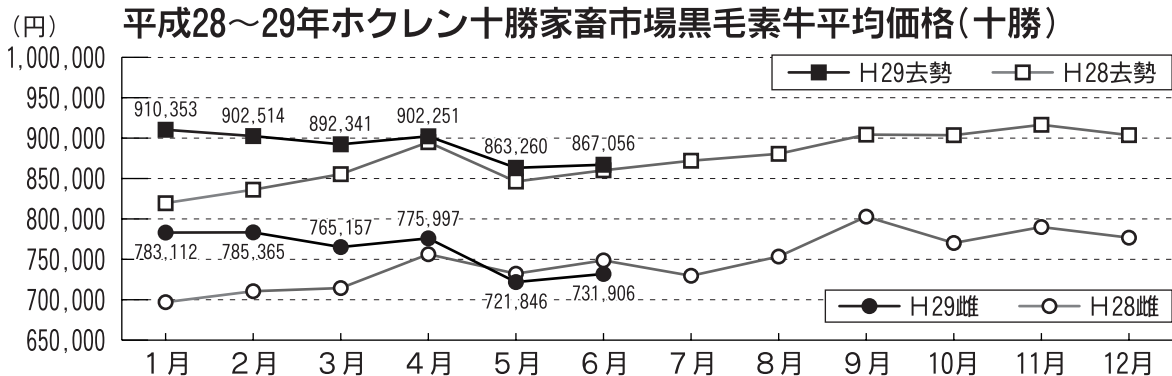


詳しくは JA十勝池田町本所
☎ 015-572-3131 までお問い合わせ下さい



畜産部通信

畜産部
畜産課



6月黒毛素牛出荷区分別成績

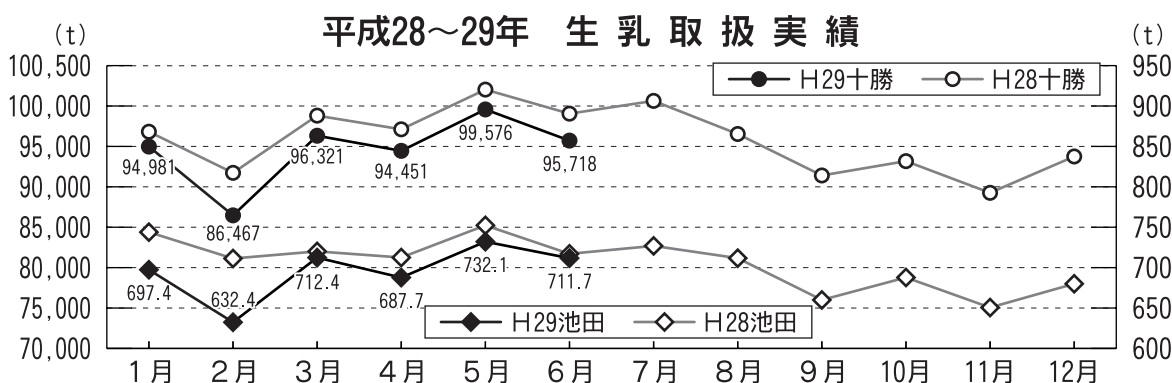
【金額(円)】

去勢	取引頭数	平均価格(税込)	参加率・認定率
和牛素牛	712	867,056	
マニュアル参加牛	432	884,610	60.7
マニュアル認定牛	51	951,564	11.8
池田			
和牛素牛	57	897,575	
マニュアル参加牛	54	891,940	94.7
マニュアル認定牛	8	971,055	14.8
雌			
和牛素牛	534	731,906	
マニュアル参加牛	326	737,401	61.0
マニュアル認定牛	12	834,570	3.7
池田			
和牛素牛	43	740,052	
マニュアル参加牛	37	734,984	86.0
マニュアル認定牛	0	—	0.0

6月ホクレン十勝枝肉市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税抜)
10日	黒毛去勢	A-5	2,346
		A-4	2,225
		A-3	1,994
	黒毛メス	A-5	2,367
		A-4	2,247
		A-3	1,750
	F1去勢	B-3	1,125
		B-2	973
	F1メス	B-3	1,123
		B-2	990



6月ホクレン十勝乳牛市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
1日	乳牛育成	398	591,685
6日	乳牛初妊	365	878,655
	乳牛経産	83	498,609

6月十勝中央家畜市場

【金額(円)】

区分	平均価格(税込)
乳牛オス初生	144,092
F1オス初生	319,383
F1メス初生	216,059
廃用牛	188,617



川合地区

はっ た ゆう き
八 田 祐 基 さん
(25歳)

Vol.38

未来人

Mirai Bito

プロフィール

家族は妻・智早さん、父・英司さん、母・都志枝さん、祖父・秀昭さん、祖母・幸子さん。畑作を営む。

帯広三条高校を卒業後、弘前大学農学生命科学部に進学した後就農。

「趣

味は旅行。温泉に泊まりに行くのが好きです。」と話してくれたのは今年で就農4年目を迎える八田祐基さん。妻・智早さんとは友達の紹介で知り合い、今年の4月に結婚。

智早さんの第一印象を聞くと、「優しそつで、笑顔が素敵な人。付き合い始めた時から、将来この人と結婚するんだろつなと思いました。」と笑顔を見せる。

祐

基さんの家では小麦・ビート・小豆・馬鈴薯・

長いも・かぼちゃ・スイートコーン・にんにく、と数多くの作物を作付している。収穫する際は色々な作物があるので大変そつです。ねと尋ねると、「収穫は大変ですけど、今まで頑張つた成果が見えるので頑張れます。」と話す。

農業の魅力について聞くと、「自分は自然が好きで、生き物が好きで、植物が好きなので、そついった環境の中で仕事ができるところ

に魅力を感じます。また、将来的には自分

が経営者となるので自分のやりたいうようにやれるところですよ。まだ何もできてないですけどね。」と苦笑い。

弘前大学では植物の細胞の仕組みについて勉強していた祐基さん。農

作業は父・英司さんから指示を受けて行つていたとのことですが、「将来的には大学で学んだ知識を活かして、植物の生理的状態の把握をし、作業計画を立てられるようになりたい。」と話す。

青

年部については、「皆さん意識が高いので、

自分もしつかりやらなきゃと奮い立たせてくれる。仕事のにも・人間的にも成長できる場」と青年部の魅力を語る。

最

後に今後の目標について聞くと、「結婚して自分一人の人生ではなくつたので、家族を守るためにも、早く一人前になりたい。」と話してくれました。



理事会の動き

第 5 回

〈平成29年7月25日〉

★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の資格変更について
- (2) 組合財務の現況について
- (3) 6月末仮決算について
- (4) 共計品の精算について
- (5) 平成29年度組合員「作付面積・家畜飼養状況」について
- (6) 農産物の生育状況について
- (7) 平成29年度目標管理制度の各部目標及び中間面接結果について

★ 議 案 ★

- (1) 池田町農民同盟に対する分担金の拠出について

★ 協 議 案 ★

- (1) お盆休業について
- (2) 地区懇談会までの日程について



広報誌「創造」7月号の訂正とお詫び

いつも広報誌「創造」をご愛読いただき、誠にありがとうございます。

この度、広報誌「創造」7月号2ページに掲載いたしました「平成29年度池田町家畜品評会成績表」の内容に誤りがございました。

正しくは

◎ 肉牛の部 未経産 1部 1等2席
106 ふくの 信取／高嶋 紳一様

◎ 肉牛の部 未経産 4部 1等2席
403 みりあ 千代田／武田 大治様

以上のように訂正し、ここに謹んでお詫び申し上げます。



7月は暑かったですね。池田町では14日が35・4℃、15日が36・1℃と2日連続で猛暑日を記録しました。私の家にはクーラーがないので、夜寝る時は辛かったですね。来年はクーラー買つか検討中です。(ちなみに、北海道では2014年6月に音更町駒場北町で観測された37・8℃、全国では2013年8月に高知県四万十市で観測された41・0℃が過去最高気温だそうです。)

当農協では小麦の収穫が7月24日からスタートしました。この広報が皆様のもとに届く時には刈り取りは終了している頃だと思っています。組合員の皆様、収穫作業お疲れでした。

そして8月中旬からは芋や玉ねぎの収穫作業が始まり、また忙しい日々が続くと思いますが、体調管理には十分お気を付け下さい。(杉山)

